



東京電力(株)東通原子力建設準備事務所 広報誌

ゆきしろみず

Vol 9

春号

2007.3.25

発行/東京電力株式会社 東通原子力建設準備事務所 〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303 TEL0175-45-7052・FAX0175-48-2019
ホームページアドレス <http://www.tepco.co.jp/nu/hd-np/index-j.html>



春の訪れを知らせる「フキノトウ」

12月から開始されました敷地造成工事の進捗率は約3% (2月末時点) です。現在行われている敷地造成工事の主な作業は樹木の伐採であり、天候に恵まれ順調に進んでおります。

また3月からは港湾工事も始まり、同月6日に小田野沢地区の鍵懸神社で安全祈願祭を行いました。式には当所関係者(峯雅夫所長)をはじめ、第一・第二工区共同企業体関係者の約60人が出席し、工事期間中の安全を祈願しました。

式の中で峯所長は「当事務所が掲げた私たちの誓い『私たちは地域と共に安全最優先を合言葉に世界に誇れる原子力発電所を建設します』を一緒に実現してもらいたい。近隣漁協との共存共栄と海域の環境保護にも努めてもらいたい」と挨拶し、それを受けて第一工区の施工者代表として五洋建設(株)東北支店の熊谷 博支店長は「工程管理・安全管理・品質管理を徹底するとともに他工区とも連携しJV8社の英知を発揮して最大限努力する」と、第二工区の施工者代表として東亜建設工業(株)東北支店の佐々木 與志夫支店長は「安全・安心を確保し、工区同士連携を取りながら全力を尽くして無事竣工を迎え



伐採前の様子



伐採後の様子



伐採後の敷地内の様子

たい」と述べられました。

港湾工事は原子炉本体建設時に大物機械設備などを荷役するための施設を確保すること、発電所で用いる冷却水を取水するための静穏な海域を確保することを目的に行う工事で、約6年をかけて建設する予定になっています。



挨拶をする峯所長



五洋建設(株)東北支店 熊谷支店長



東亜建設工業(株)東北支店 佐々木支店長

各電源の発電コスト試算



(注)割引率3%、運転年数40年、設備利用率80%(水力のみ45%)とした場合の試算。
【出典】総合資源エネルギー調査会電気事業分科会資料(2004.01)

原子力発電の
コストは他の電源に
比べてどうなのか？

原子力発電所は他の電源に比べて建設費が高いものの、ランニングコストは安定しており、発電電力量(kWh)当たりの原価は他の電源と比べても劣りません。

また、原子力発電の発電コストは、燃料費の占める割合が大きくないため、燃料価格に左右されにくいという大きな特長を持っています。

伝統の“餅つき踊り”受け継ぎ、古野牛川子ども会育成会が発表会初参加!

東通村体育館で2月18日に開催された第29回東通村子ども会郷土芸能発表会。今年度初参加した古野牛川子ども会育成会の小中学生も、力いっぱい「餅つき踊り」などを披露しました。



本番に向けて着付けの練習も

古野牛川子ども会育成会は、入口小学校の閉校に伴い、これまで小学校と共に行ってきた地域の様々な伝統行事を受け継ぎ、子どもたちと地域の人々のふれあいの場をつくろうと2年前に結成されました。



さあ! 師匠と一緒に

地域に古くから伝わる餅つき踊りは、婦人会が守り伝え、解散後は「しおさいの会」が引き継いできましたが、後継者の育成が課題となっていました。地区に育成会ができたことで、伝統は絶えることなく子どもたちへと継承されていくことになったのです。



北田姫奈子さん

餅つき踊りの練習は、昨年6月から行われまして。初めは小学1年生から中学3年生までの全員が踊りを習う予定でしたが、受験のため中学2年生までの9人が挑戦することになりました。

講師はもちろん「しおさいの会」のお母さんたち。通常は月1回ですが、発表会の前はほとんど毎日練習しました。まずは礼に始まり、手の動き、足の動きと振り覚えたら、最後は「しな」のつくり方まで、みっちり。最初は伝統の踊りに仕方なく参加していた子どもたちも、振り付け覚え、着物を着せてもらって曲に



そろそろ本番舞台そで緊張する子供たち

合わせて踊る頃には、楽しそうな笑顔でいっぱいになりました。

最年少で踊りは初めてだったため、みんなより少し早く来て練習を重ねた東通小学校1年生の北田姫奈子さんは「覚えるのはとても大変だったけど、着物をきて踊るのは微妙に楽しい」とはにかみます。北部中学校2年生の三国愛莉さんは「細かい指の動きや踊っている時の目線など難しい部分も多いけれど、みんなと踊れておもしろかった。踊りは地域によって振りもテンポも違うので、古野牛の良さを出せるよう頑張りました。これからもみんなと受け継いでいきたいです」と話していました。



育成会会長 下館義弘さん

初舞台となった発表会ではちょっと緊張したものの、みんなの熱意が伝わる踊りに、大きな拍手とおひねりがあがっていました。

育成会の下館義弘会長は「今回は女子だけでしたが、やがては男子にも権現舞(獅子舞)などを教え、傳承したい。少子化は進んでいますが、子どもを通して地域が一つになれるのはとても素晴らしいこと。絶やさずずっと続けたいと思います」と決意を語っていました。



初舞台の幕が開きました。



練習の成果が出ていますよ!



心配そうにステージを見つめるお母さんたち

大利そばを味わう会で舌鼓!!

2月4日(日)・3月4日(日)、東通村大利の生活改善グループ(会長:中西富子さん)が大利地区ふるさと伝承館において「大利そばを味わう会」を開催しました。昨年12月に始めたこの会は好評により今年も2月と3月に開催することになりました。伝承館の中に入るとそばゆでの香りがほんのり漂い、「いらっしゃいませ」



忙しくそばを準備するメンバー



大利地区ふるさと伝承館

の声。大利生活改善グループのメンバーは忙しいにもかかわらず、お客様には温かいおもてなしをしていました。

大利そばの特徴は、そば打ち時に使用する水と茹で上がりのそばを洗うときに「ジュラ紀湧水」を使うことです。

この日、お客様は美味しいかけそばにおかわりをするなど、舌鼓を打っていました。大利生活改善グループでは今後も継続的に、回数を重ねたくさんのお客様に、大利そばを味わってもらいたいと張り切っていました。



会長の中西富子さん



そばを堪能するお客さん

盛り上がった地域イベント

紹介

第41回 東通村郷土芸能保存連合会発表会

〈平成19年1月6日(土)〉
東通村体育館において「第41回東通村郷土芸能保存連合会発表会」が開催され、各地区に伝承される幽玄(ゆうげん)なる舞をご披露されました。
この発表会は東通村郷土芸能保存連合会の主催で行われ、回を重ねること41回と非常に歴史のあるものです。
この日は発表会を観ようと、村内はもとより県外からの観客も数多く東通村の民俗芸能を1日堪能していました。
小田野沢神楽会の「踊獅子」を幕開けに各地域の舞、十四演目が演じられ、観客を魅了しました。



歴史と伝統を誇る発表会に魅了されつづけた一日でした。

第29回 東通村子ども会郷土芸能発表会

〈平成19年2月18日(日)〉
東通村体育館において「第29回東通村子ども会郷土芸能発表会」が開催され、各地区の民俗芸能を盛んに子供達に伝承されていることが、熱く感じられました。
子供達は艶(あで)やかな着物姿で手踊りや神楽、獅子舞や能舞等の演目をステージいっぱい元気に舞っていました。
この日は発表会を観ようと、村内各地区から数多くの観客が集り、子供達の踊りに声援をおくっていました。地元の子ども会がステージに立つとお母さんやおばあちゃんたちの歓声が体育館中に響いていました。



大人顔負けの熱演に感動しました。



みんなでヨーク考えてみよう!

ゆきしろみず
ミニミニ

クイズ

〈問題〉東通村の各地に、古くからの民俗芸能が数多くあります。

さて、その中でも毎年1月15日披露され、恒例行事となっている「もちつき踊り」は右の①～③の何番でしょうか?

〈ヒント〉色あでやかな女性の着物姿が美しい。杵と臼を持ってるよ!

①



②



③



応募方法

答えがわかった方は折込ハガキでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様に図書カードをプレゼントいたします。なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。〈応募締切/平成19年4月27日(金) 消印有効〉クイズの答えは次号に掲載いたします。



図書カード

冬号の答えは② 翁でした ※応募総数67通で正解者は62名様でした。

個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本広報誌関連の使用を目的とし、第三者に開示・提供することはありません。



〔静岡県 Iさん〕
エネルギーの扉は、子供でもわかりやすくしてほしかったです。村民の笑顔はすごく良かったです。また、読みたいですが、ホームページはありますか?

〔編集室から〕
エネルギーの扉は、今後工夫して行きます。それからゆきしろみずはホームページからも読めるようになりました。(アドレスは表紙に記載しています。)

〔東通村 Tさん〕
表紙について各村々の風景がよい。私も尻屋崎とか寒立馬等40年余り撮って

います。御利用の程。

〔編集室から〕
ありがとうございます。ご利用させていただく折にはよろしくお願ひします。

〔東通村 Kさん〕
翁のお面、やさしい顔ですが、どこの地域のお面ですか…。

〔編集室から〕
岩屋地区のお面です。ただし現在は新しいものを使っているそうです。

〔東通村 Mさん〕
「ゆきしろみず」に関係のスタッフ紹介して下さい。

〔編集室から〕
少しはすかしいですが検討します。

〔六ヶ所村 Kさん〕
村民の笑顔に参加(イベント等)した人のコメント等があれば良いと思います。

〔編集室から〕
貴重なご意見ありがとうございます。



お問い合わせ

東京電力株式会社
東通原子力建設準備事務所 広報グループ

〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303
TEL0175-45-7052・FAX0175-48-2019(月～金・平日午前9時～午後5時)

編集後記

今年の冬は本当に雪が少なかったですね。雪かきの回数は少なかったですが、雪が少ないのもまた寂しいものですね。何だか複雑な気持ちです。さて、「ゆきしろみず」は次号で3年目を迎えます。これからも皆さまにご愛読いただけるよう内容も工夫していきたいと思っておりますので、良い話題やとっておきの話題がありましたら、ぜひ教えてください。どこでも取材に伺います。よろしくお願いいたします。